

## 日本語教員養成課程【新基準】

適用年度および入学区分：平成29年4月以降入学の正科生および学士の学位（4年制大学卒業資格）を有する科目等履修生とする。

ただし、平成28年度以前入学生にも適用する。

修了要件：必修14単位（教育実習を含む）および選択必修2単位を含む27単位以上（うちスクーリングまたはライブ授業5単位を含む）

区分	科目名	単位	レベル	授業方法	必修・選択
社会・文化・地域	日本語教育	2	100	通信授業	必修2単位
	宗教学	2	100	通信授業	
	俳句と川柳	2	200	メディア授業	選択
	日本語教育特講	1	300	スクーリング 通信授業 ※いずれかを選択	
言語と社会	第二言語習得研究Ⅰ	1	300	通信授業	必修2単位
	第二言語習得研究Ⅱ	1	300	通信授業	
	異文化コミュニケーション	2	200	通信授業	選択
	異文化コミュニケーション演習	1	200	スクーリング	
言語と心理	学習心理学	2	100	通信授業	選択必修 2単位以上
	文化心理学	2	300	通信授業	
	認知心理学	2	300	通信授業	
	心理学総合演習	2	300	スクーリング	
言語と教育	日本語教育実習 注1)	1	400	教育実習 ※平成30年度開講	必修3単位
	日本語教授法A	1	200	通信授業	
	日本語教授法B	1	200	通信授業	
	日本語教育読解演習	1	300	ライブ授業 ※平成30年度開講	選択
	日本語教育聴解演習	1	300	ライブ授業 ※平成30年度開講	
	日本語教育作文演習	1	300	ライブ授業 ※平成30年度開講	
	日本語教育会話演習	1	300	ライブ授業 ※平成30年度開講	
	日本語教育文字・語彙演習	1	300	ライブ授業 ※平成30年度開講	
	日本語教育演習Ⅰ	1	300	メディア授業	
	教育心理学	2	200	通信授業	
	オンライン教育概論	2	300	通信授業	
	情報活用Ⅰ（基礎）	2	100	スクーリング	
	対人コミュニケーションのトレーニング	2	200	スクーリング	
言語	日本語の特徴と発音	1	200	通信授業	必修7単位
	日本語の文法と表現Ⅰ	1	200	通信授業	
	日本語の文法と表現Ⅱ	1	200	通信授業	
	日本語教育文法研究Ⅰ	1	300	通信授業	
	日本語教育文法研究Ⅱ	1	300	通信授業	
	日本語教育読解研究	1	300	通信授業	
	日本語教育聴解研究	1	300	通信授業	
	英語表現Ⅰ（基礎）	2	100	通信授業	選択
	英語表現Ⅱ（応用）	2	100	通信授業	
	英語A（実用文法）	2	200	通信授業	
	英語B（翻訳）	2	200	通信授業	
	英語C（文書作成）	2	300	通信授業	
	英語D（英会話）	2	300	スクーリング	
	韓国語Ⅰ（基礎）	2	100	通信授業	
	韓国語Ⅱ（応用）	2	100	通信授業	
	中国語入門	1	100	通信授業	
	プレゼンテーション概論	2	100	メディア授業	
	プレゼンテーション演習Ⅰ（基礎）	2	100	メディア授業	
	プレゼンテーション演習Ⅱ（応用）	2	200	通信授業	
	コミュニケーション概論	2	100	通信授業	

注1) 日本語教育実習は平成30年度に開講する。

日本語教育実習を履修できるのは、在学2年目以降で以下の12科目13単位を修得済の者とする。

日本語教育	2
第二言語習得研究Ⅰ	1
第二言語習得研究Ⅱ	1
日本語教育文法研究Ⅰ	1
日本語教育文法研究Ⅱ	1
日本語の特徴と発音	1
日本語の文法と表現Ⅰ	1
日本語の文法と表現Ⅱ	1
日本語教授法A	1
日本語教授法B	1
日本語教育読解研究	1
日本語教育聴解研究	1

教育実習費用 実習先により異なる。